臺灣日日新報
本日四頁
昭和十六年三月三十一日（月曜日）

内閣政治力の强化
具體化工作は順調に進捗

【東京發同盟】政府は一日の定例閣議において大政翼賛會の改組案及び柳川法相の翼賛會副總裁兼任並に元藏相石渡莊太郎氏の事務總長就任を正式に承認しこれが改組斷行は事實上柳川副總裁並に石渡事務總長に一任することとなつたが一方翼賛會改組とともに議會後の重要政治問題となつてゐる内閣政治力の强化問題に關してもこの際政府として積極的にこれを取上げ近衞首相、平沼内相を中心に東條陸相、及川海相の意向を聽取して内閣政治力强化に關する具體的對策を新に確立して急速實行に移すべきであるとの決意を固めるに至つたやうである、即ち近衞首相平沼内相としては

一、緊迫せる内外の情勢に鑑み高度國防國家體制の確立强化は一日も忽せに出來ないのは勿論これが體制の强化確立に必要なる政治經濟文化方面に對する戰時諸方策は急速に實行せねばならぬこと

一、然も戰時諸方策の强行に先立ち内閣政治力の强化を圖ることなしには到底これが方策實施の效果を收め難いこと

一、また政府と表裏一體關係を明確にした新生翼賛會をして國策の貢獻協力機關たるの實を發揮せしめる爲にも内閣政治力の强化が絶對的に必要であること

等の意向を有して居りこの點に關しては近衞首相始め内閣首腦部の意向は大體一致してゐるから政府の内閣政治力强化に關する根本對策樹立の具體化工作は比較的順調に進捗し出來れば來月七日招集の地方長官會議前に實施を見ることとならう

副總裁と事務總長 最初の改組打合せ

【東京發同盟】翼賛會副總裁柳川法相並に石渡事務總長は二十九日首相官邸に於て内閣二長官と翼賛會の改組案並にこれが人的構成の更改につき最初の打合せを遂げた[illegible]して新發足することとなつた、而してとの點については改組後の翼賛會が發足當初の政治理念を[illegible]するに非らずやとの疑念が一部にあるので何等理念を變更するものに非らざる旨を聲明すべしとの意見もあつたが徒らに聲明の濫發はこれを避け專ら人事によつてこれを立證するに如かずとの事に意見一致し單に地方組織の不要な部[illegible]の機構を[illegible]に近く總裁談の形式をもつて聲明することとなつた。更に人的構成の更改については柳川副總裁と石渡事務總長の手許で專ら人選されるわけであるから柳川、石渡コンビに相應しい中堅的人材の起用が特に目立つ事となろうと見られるが柳川副總裁としては二十九日近衞總裁に推擧された有馬前事務總長始め翼賛會部長以上の幹部の處理に關しては愼重なる態度を以てこれに臨み特に問題となつた人物以外のもので同會に留り難き情勢に推移し[illegible]者についてはなるべく留任を懇望して適當なる部署を與へ一般役員についても同様の方針を執る筈になつて居り又一方議會方面の要望と委員會設に依つて議員人を積極的に會内に吸收する方針を採用するの途を開いてゐるから改組に伴ふ人事更迭の中心は議會以外方面も納得する程度のものとなる模様である

新人事の詮衡着手
陣容の新構成は決定的

【東京發同盟】柳川翼賛會副總裁石渡事務總長は二十九日就任と共に政府側と連絡を取りつつ翼賛會新人事の詮衡に着手したが現在の局部長は殆ど全面的に退き新たなる陣容が構成されることは決定的である、即ち

一、有馬事務總長始め後藤組織、小畑企畫、太田政策、前田議會の四局長は全部退く

一、部長は一、二部長居殘るものがあるかも知れないが殆んど全部退く、松前總務、宮多國民生活指導、武内宣傳組織、赤松組織、龜井東亞、船田内政、清水組織、三輪連絡各部長の引退は確定的である

一、副部長は廢止となるので一應全部辭任となるが一般職員として居殘る者も若干あらう

一、現在の中央部、一般職員四百五十名は約半數程度に整理されることとならう

而して改組後の翼賛會の新機構は

一、事務總長の下に總務、組織、調査（又は委員會）の三局及び外局たる東亞局となるか目下各局長としては一般に上る人々は左の如くである

一、東亞局、大東亞聯盟との關係もあるので局長には軍人を起用

一、評議員、顧問、參與、内閣參議、翼賛會員、各界代表者

とする説もあるが目下のところ永井柳太郎氏の就任が最も有力

一、組織局、新翼賛會の中樞部門であるから地方支部長を解任しては各部門から内務畑の[illegible]等の官僚の協力を得て[illegible]

一、顧問、各顧問、内閣參議、前總務、議員、[illegible]

けふ最後的會合
改組の具體案を決定

【東京發同盟】大政翼賛會の改組人事は柳川副總裁並に石渡事務總長の手で着々進められてゐるが石渡氏は總務局長として新人事の決定に努めてゐるが三十日から[illegible]

一、改組後における性格と指導理念

一、政府と翼賛會の關係

一、柳川法相の副總裁、石渡莊太郎氏の事務總長就任を求め直ちに改組問題に關し[illegible]

等であるが[illegible]

一、今回の改組は翼賛會發足の原點に立ち返り、[illegible]

一、翼賛會現機構の單純化と委員會の創設（議會局の廢止、調査局或ひは議員委員會の創設）

三、大政翼賛會の名稱不變

四、道府縣支部など地方組織に變更を加へず

五、中央、地方協力會議並にこれが運用に關し再檢討を加へること

新なる政事結社
翼賛理念に反せば斷壓

【東京發同盟】政府は柳川副總裁及び石渡事務總長の手に依る改組翼賛會の整備とその翼賛運動に期待をかけてゐるが一時休止状態にあつた政事結社の動きが改組を繞り再び活潑化せんとする傾向が見られ既に中野正剛氏の率ゐる東方會は復活再發足をなして居りまた議會の會派も有志間と目に政事結社を結成せんとする機運が動いてゐる、この傾向に對し政府は左の如き取締方針を以てこれに臨まんとしてゐる

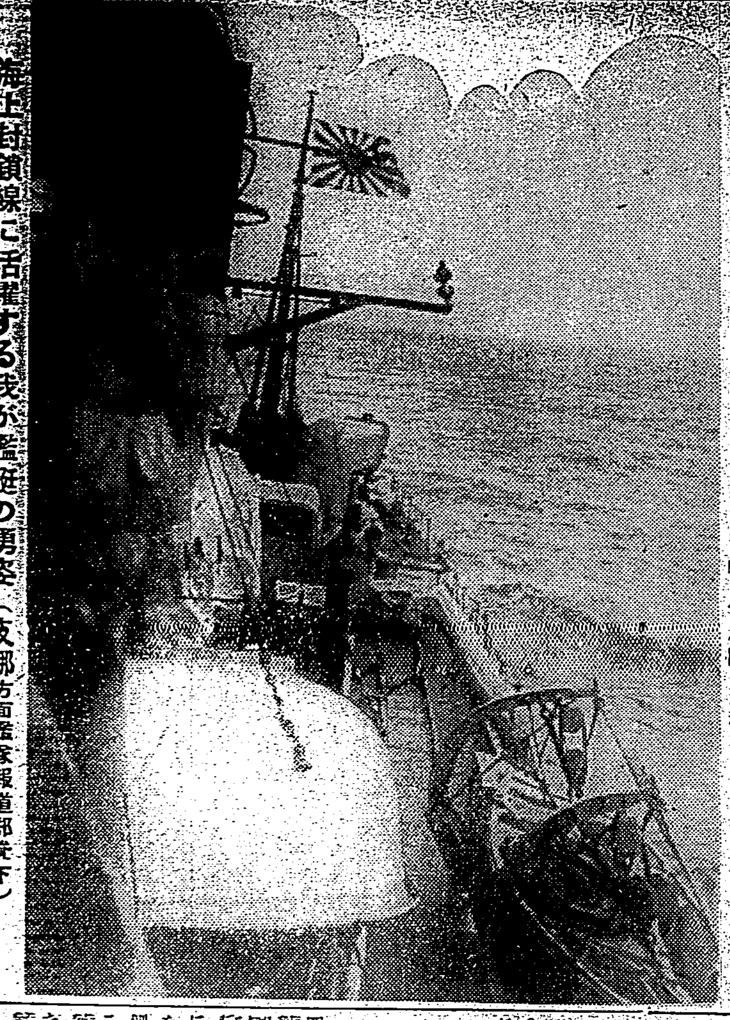
一、公事結社たる翼賛會以外の政事結社は現行法によれば屆出制度であつて許可制度ではないが自ら濫りに頻發を加へるべきではない

一、但しその指導理念において翼賛運動の理念に反し舉國一致體制を亂す如き結社は斷乎取締る

一、今後政事結社續出の傾向が現はれて來ればこれに對して任別に對策を考慮する

剿滅戰の火蓋を切る
襄安に蟠踞する敵に對し

【南京二十九日發同盟】赤鹿、鈴木、白鳥、角田、權、大石、中村、齊明寺の各部隊は二十八日早曉襄安附近に蟠踞する第七十二、百二十五、百七十六など各師約一萬の敵に對し突然剿滅の火蓋を切り〇〇に向け朝靄を衝いて壯烈な追擊戰を開始した、一方鈴田部隊も海艇に分乘して長江を溯江、諸の兵數部隊も亦陸から協力一擧にこれを屠らんと急追しつつある


海上封鎖線に活躍する我が艦艇の勇姿（支那方面艦隊報道部貢下）

日獨兩外相會談
廣汎且つ重要な内容

【ベルリン二十九日發同盟】松岡外相は二十九日午前十一時外務省にリッベントロップ外相を訪問、前日に引續き第三次會談を行つた會談は大體二十八日で終了の見込だつたが二日間五、六時間に亙つた會談で詳議は未だ終了せず二十九日更に第三次會談を續行するに至つたものだがその範圍は廣汎且つ重要なる内容は極めて廣汎且つ重要なるものであると見られてゐる

米平靜を裝ふ
極東問題に常識を失はず

【ワシントン二十八日發同盟】松岡外相のドイツ首腦者との會談に對しアメリカ當局は多大の關心を寄せながら平然たる態度を裝ひ本日一般の記者會見で[illegible]に對しても極めて平靜な態度を持してゐる、松岡外相に對し英國の極東問題につき[illegible]で語られてゐる、記者が提議した多くのアメリカ記者達もドイツはイギリスの勢力の分散を計る爲め日本を南方で事を起すことを求めてゐると信じ切つてゐる、政府當局は今の所この會談に對し[illegible]ジヤリとアメリカが參戰を決定したら[illegible]されると見る者が大多數、一歩一歩進めて行くことになろうと云ふのがアメリカ人の[illegible]

羅馬教皇松岡外相と會見の豫定

【ヴァチカン市二十九日發同盟】消息通によれば非公式發表に依ればローマ教皇ピオ十二世は四月二日午前松岡外相と會見の豫定で既に萬端の準備を進めてゐる

ユ國分裂の危機
反獨親獨の二派に對立

【ニユーヨーク二十九日發同盟】シモヴイッチ新政府のクーデターを繞りユーゴ内部は反獨派と親獨派の二派に分れ國内の混亂を招いてゐる旨を傳へられるが、二十九日のAP電によればクロアチア派のマチェク氏の率ゐるクロアート人等はセルビア人に依るクーデターに反對し[illegible]

剿滅戰

獨の對ユ態度硬化
暴徒獨公使を襲擊暴行

【ベルリン廿九日發同盟】ユーゴ首都ベルグラードに於ける反獨デモは二十八日も依然として續けられセルビアの暴徒達が獨逸公使館を襲撃してゐる[illegible]

一、ドイツは二十九日一般居留民に對し二十四時間以内にユーゴ國外に退去を命じ、獨公使館では早くも重要文書の燒却を開始したと

獨伊英の三國民
ユーゴより引揚を開始

【ニユーヨーク二十九日發同盟】ユーゴを繞る獨伊の關係は二十九日に至り更に緊迫し英獨伊三國が夫々在留民の引揚を開始するに及んで事態の重大性が愈々濃化されるに至つた、即ち

一、ドイツは二十九日一般居留民に對し[illegible]

一、英國も二十九日婦女子に對して引揚命令を發した

一、これに對しユーゴ政府は[illegible]

獨の擊沈能力莫大
對抗し得ぬ英米造船能力

【ニユーヨーク三十日發同盟】戰爭の長期化と武器貸與法に依る米國の對英援助の本格化に伴ひ獨英雙方の封鎖戰の勝敗を決定するものは米國の造船能力並にこれを撃沈する獨の潜水艦如何にあると見られるがニユーヨーク・タイムス紙は三十日の紙上にこの點を論じ米國が民主主義の兵器廠としての實を擧げる爲めには輸送船舶が必要であり從つて造船所の船舶こそ現在の最も重大な要素であると前提し英米兩國の本年度に於ける造船能力は獨の撃沈能力に到底對抗し得ないと說き結論としてこの造船能力と云ふ點より見て本年こそ英國の危機であると警告してゐる、同紙論評の要旨は次の通り

一、戰爭勃發以來英國及び聯合國の船舶で沈沒したものは五百三十一萬八千噸に達するが本年中にそのドイツの潜水艦戰の勝利は[illegible]米國の造船能力と[illegible]

一、ドイツの潜水艦の[illegible]

獨裁國家を誹謗
休暇から歸つたル大統領

【エヴアグレード（フロリダ）二十九日發同盟】休暇先釣旅行中のルーズベルト大統領は二十九日夜その乘艦ポトマック號上からジヨンソンデーを期して全米國民に呼かけ放送を行ひ再び獨裁國家とナチズムの計畫を痛撃し英國その他への最大限援助の必要を强調した放送要旨左の通り

今やその政治上の色々の意見の相違を超越してこの國の立場はすべく立上り民主主義の國家的理想に眼覺めんとしてゐる、民主主義の敵どもは我々の國體を轉覆する爲に何らの巧妙な言辭をもつて來るのだ、英國及び民主主義と自由の基本原則を脅かすものであり、[illegible]

事務簡易化を企圖
地方行政連絡協議會で

【東京發同盟】最近における地方行政に關する國民の不平と非難は主として中央並に地方各廳の事務の煩雜に因る所が少くないので内務省では三十一日午前十時より内相官邸において各省次官等の會合を催し[illegible]

一、戶籍臨時の處理

一、政府が直ちに取上げ實施すべき事項

英艦伊艦三隻に打擊を與ふ

【ロンドン二十九日發同盟】英海軍省は二十九日午後英國東地中海艦隊は廿八日の海戰に於てイタリアのリットリオ級主力艦（三萬五〇〇〇噸）一隻に損害を與へ巡洋艦二隻に致命的打擊を與へた

伊空軍英艦を强襲

【ローマ二十九日發同盟】伊空軍部隊は二十八日エーゲ海で英海軍艦隊を攻撃し[illegible]

重慶政權現品で徵稅

【香港二十九日發同盟】[illegible]

專賣局廢合の改革案成る

【東京發同盟】大藏省では官吏新[illegible]

金屬鑛物增產運動の計畫要綱骨子を決定
閣議に附議決定の上實施

【東京發同盟】日本金屬鑛業聯合會では臨時資金統制令改正、[illegible]

滇緬鐵路哀れ白晝夢
徒らに重慶の弱體暴露

【上海發】[illegible]

ゲ元帥訪問
午餐を俱にして懇談

【ベルリン二十九日發同盟】松岡外相は二十九日ゲーリング元帥を訪問、午餐を俱にし五時まで懇談した[illegible]

人事

▲今村武雄氏（大日本紡績）[illegible]
▲中上堂吉氏（[illegible]）三十日來北
▲中村安太郎氏（[illegible]）
▲字野木忠氏（[illegible]）三十一日
▲東邦大郎氏（[illegible]）
▲三十一日來北
[illegible]

大東亞建設と無電技術の完成へ
新學期 專門部・中三修了者以上 普通部・尋小卒以上
晝・夜間部
創立昭和九年
武藏野高等無線電信學校
校長 建部光麿
東京市四谷區[illegible]

京都帝國大學經濟學部 東亞經濟研究所發行
東亞經濟論叢
創刊號 A5判 二五〇頁 特價一・五〇 送料九錢
大東亞共榮圈の經濟一般に關する理論的・政策的・歷史的研究は今や時代の强く要求する所である。本書は我學界の權威を網羅せる精銳の執筆陣が各々得意の題目に據る貴重な論作にして朝野有識の士は是非本書の示唆に傾聽せられむことを希む。
宋金貿易の茶・錢・絹…加藤繁
中國金融の特殊性…小島昌太郎
支那農村の包稅制度…八木芳之助
現代支那社會論…小竹文夫
支那に於ける米の流通機構…天野元之助
墨家の經濟思想…穗積文雄
領用制の進展…徳永清行
東亞食糧問題と食糧慣習…大上末廣
買辯制度…鈴木總一郎
支那に於ける教會の社會性…澤崎堅造
支那紡績の勞働請負制度…岡部利長
中國の聯合準備制度…熊本吉郎
佛領印度支那の財政…島本融
東亞廣域經濟の貿易政策…谷口吉彥
東京神田 有斐閣 發賣

有斐閣 新刊
臺灣米穀經濟論 川野重任著
新刊 蠶絲業統制の研究 平岡謹之助著
新刊 リカードゥ研究 D・ホランダー著 山下英夫譯
新刊 日本檢察法論 佐々波與佐次郎著
新刊 新監獄學 正木亮著
新刊 日本法制史研究 瀧川政次郎著

全面和平の大旆

新秩序建設の大行進曲

南京還都一周年

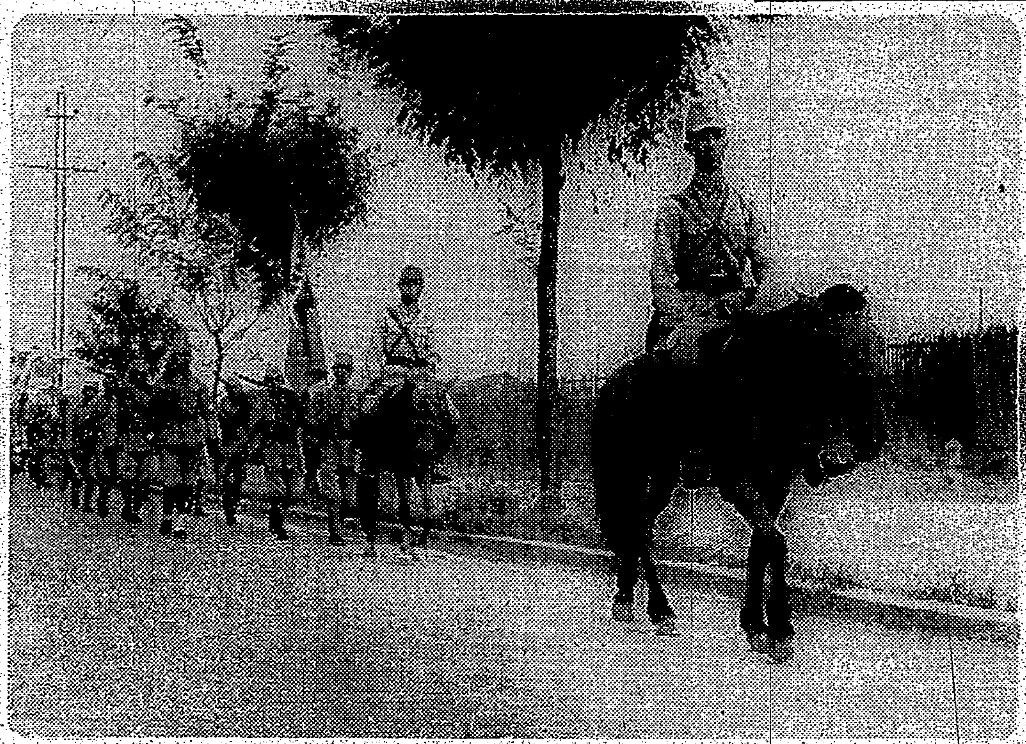
【南京にて山口特派員發】汪精衞氏の誠意とこれに呼應する國民政府が南京に還都してから早くも一年、三十日には還都一周年の慶祝行事が首都南京はじめ治下の各地一齊に行はれた

南京にも この間一ヶ年の成長

改組還都

皇軍に協力する新中國軍

東亞聯盟



華北の自力防衞

態勢確立へ邁進

王揖唐華北政務委員長談

【北京廿九日發同盟】國民政府還都華北政務委員會成立一周年に當り華北政務委員會王揖唐委員長は廿九日次の如き談話を發表した

新中國

華北は

重大性

我々は

國民は

國際情勢

日支條約

慶祝行事に湧く

記念日の北京賑はふ

【北京三十日發同盟】

南京還都初周慶祝豪華版

記念典禮に續き

汪主席和平建國の獅子吼

開眼

國府

慶祝

廣東

新京

還都

新政府を謳歌　厦門で慶祝大會

よい放送を
不足なく聴きませう

雑音、混信等の餘計な音がスピーカーから飛び出しては、どんなよい放送もメチャメチャです

美しく正しい音と優れた性能！

ビクターラヂオ

現品を御約店で御試聴下さい

大阪商船
日本郵船
東亞海運
南日本汽船
辰馬汽船
大連汽船

株式名義書換停止
臺灣果實興業株式會社

第二回決算公告

日本評論

四月號　定價一圓

社說
松岡外相の渡歐
泰・佛印調停の性格
太平洋を凝視して
アメリカの文化

翼賛會を如何にするか　新明正道　木原通雄　川田秀穂

新國民組織への道　蠟山政道

國民學校について　城戸幡太郎

國防理工科大學論　宮本武之輔

大人の代のために　柳田國男

東亞聯盟とアジア聯盟　周化人

アメリカ戰時經濟を檢討す　飯田清三　小島精一　金原賢之助

ドイツの

鍵を握るバルカン　南井慶二

分析から構想へ　船山信一

人心明朗化と實勢　長文連

現代の生物學　石田周三

映畫監督と現代　津村秀夫

文藝時評　河上徹太郎

新聞性格論　伊佐秀雄

出版文化を語る座談會

菊池寛　加田哲二　菅井準一　津久井龍雄　春山行夫

法案七十七號是非論

シェクスピアの郷里　野上豊一郎

雪國七日の記　津田青楓

或る日に思ふ　新居格

人物記　武者小路實篤

白酒・煮凝・煎餅　内田誠

海へ（詩）　菱山修三

☆世界ニュース☆

アメリカ輿論調査

新人・舊人　菅井準一　梶井剛

南洋への旅　新羅榮一・川端龍子　黑田長壽・大川沉　長谷川時雨★

小說　生くる限り・岩倉政治

小說　凪　德永直

小說　連環記　幸田露伴

文藝春秋

四月號　定價六拾錢

東京市麴町區内幸町二ノ一　文藝春秋社　振替東京七一六〇三

國民的翼賛運動

經濟新體制の實際　谷口吉彦

經濟新體制と産業人　藤山愛一郎

革新を阻むもの（財界時評）　島田晋作

ナチスへの理解

ドイツの戰時經濟

斯くあるべき翼賛運動　三町田

時局十年の大道　池上隆祐

議會的法治意識　木村三郎

新農學の實踐　大井上康

一縣勤皇への敢闘　佐々木武雄

政治實踐への道標　天羽英二

經濟戰場としてのバルカン　アイラ・ヘチヤー

北京と蘇州　林廣吉

廣東から　平野義太郎

濠亞地中海論　西堀正弘

バルカン地中海戰爭論

高度國防國家と技術

譯語漫談　矢野峰人

攘夷論者の渡歐　澁澤秀雄

國民の聲

短歌　森三樹雄　加藤將之
俳句　伊藤鷗二　星野立子

悲願に立つ文學　尾崎士郎

兒童文化の第一線　宮津博

創作　紙一重　里見弴

創作　春日　火野葦平

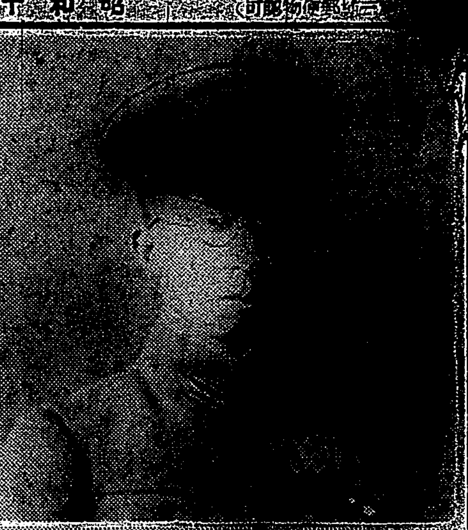
創作　早春の旅　志賀直哉

短歌・俳句・碁・將棋
第三回菊池寛賞發表
◆銃後國民訓募集◆

話の屑籠　菊池寛

社會小說　企業家　企業家の獨占慾と描寫した堂々會社小說

三笠宮殿下
御慶事を御奉告
明治神宮、多摩陵御參拜



【東京發同盟】おめでたく御婚約を決定あらせられた御慶びの三笠宮殿下には御裝も麗々しく三十日午前七時五十分青山東御殿御出門、明治神宮に御參拜、御奉告あらせられ一旦御殿に御歸還、同八時四十五分再び自動車にて御殿を御出門、同十時多摩陵に御參拜、御陵前に御奉告あらせられた後、同十一時二十五分御殿に御歸還あらせられた

新藤中佐謹話
（合子姫）

【臺北電話】三笠宮殿下御慶事につき殿下が元騎兵第十五聯隊附中隊長當時御聯隊長として奉仕した新藤秀男中佐は謹んで語る

三笠宮殿下にはこの度御慶び殿下を御迎へ遊ばされる由を拜承し慶びに堪へません、殿下には御謙讓の御性格で御勤務の頃より常々身邊の殊にその御家庭の事は……

百合子姫讚ふ
學友の悅び

【東京發同盟】三笠宮殿下と高木百合子姫の御婚約の報が傳へられ……

質實剛健な御日常
益々御健勝に亙らせらる

【東京發同盟】御慶びの三笠宮殿下には近來愈々御健勝に亙らせられ陸軍大學校に御入學以來益々御勉學に御精勵遊ばされてゐる……

夜半まで御精勵
陸大幹事四手井少將謹話

【東京發同盟】陸軍大學校幹事四手井少將は二十九日、三笠宮殿下御幹事として次の如く謹話した

三笠宮殿下には現在陸大の第二學年學生として御勉學中にあらせられます……

新中國の春讚ふ
臺北總領事館で祝賀式

【寫眞は乾杯を交す藤井外事部長（右）と郭總領事（左）】

【臺北電話】南京還都一周年記念の慶事を記念して臺北中華民國總領事館では三十日午前十一時から臺北市宮前町中華民國總領事館で還都一周年記念式が盛大に擧行された……

日本の努力は……

邦壽王殿下御直筆の
日章旗首途に賜ふ
三輪中尉　感淚に咽び勇躍出征

晴れの征途に上る日、曾つて賀陽宮恒憲王殿下第一王子・邦壽王殿下御訓育掛長として殿下の御日常に接し奉つた若年が殿下より賜はつた御直筆の"日の丸"の御旗を頂し、○○日一死報國の決意に燃えて、ありがたき光榮に感激、感涙に咽びつつ勇躍出征したといふ光榮の話がある……

繰展ぐ世紀の饗宴
ヒ總統、外相一行を招待

【ベルリン二十八日發同盟特派員】記者は今松岡外相に從つてヒトラー總統の招宴に列席して……

世紀
見惚
金髮
歡談

喜び溢る在臺華僑
臺北新民公會で祝賀會

慶賀
親善

中華大使館で盛大な祝賀會

【東京發同盟】南京還都一周年の三十日東京の駐日中華大使館では……

臺灣川柳社句會　四月一日後七時より……

長谷川總督に本島視察報告
關西實業團

星野總裁歸京

朗かな日泰親善
西貢丸の話題

大和丸入港

物驗極まる新嘉坡海峽
みらん丸土產話

臣道實踐映畫大會

川柳鐵吟社春季大會

けふの天氣

皮革榮養　ミクル印靴クリーム　革のもちをよくする

ラジオ

會葬御禮　安田治太郎　親族一同

會葬御禮　男　張清港　張進貴

齒痛に頭痛はガオガンに限る

四月一日より三日間　夏物新柄陳列會　本セル女ハカマ地　玉蟲コート地　夏大島男女新柄　シボリ名古屋帶地　單帶、名古屋帶　銘仙男女新柄　明石上布新柄　銘仙シボリ着尺地　平絽着尺新柄　男女中形浴衣地　交織白地大巾物各種　純綿シボリ褪除　臺北市榮町二丁目　金山城屋呉服店　臺灣銀行隣り　電3695番

臺灣　肛門病院　臺北市表町二ノ○　電話二八八六番　院長　田村和城

產婦人科專門　福生堂醫院　臺北市太平町四丁目（稻江信用組合對面通り）（病室完備）醫學士陳氏知

勞務係募集　一、募集人員　內地人若干名　一、採用資格　年齡廿五才以上四五才迄小學校卒業以上ノ學力ヲ有シ志操堅確身許確實ナルモノ中小商工業轉職者ニモ適職ナリ　一、待遇　一般勞務員待遇月收七五圓以上　一、勤務箇所　金瓜石鑛山事務所　志望者ハ自筆履歷書ヲ臺灣支社庶務課ヘ送付セラレ度　臺北市明石町二丁目三番地　日本鑛業株式會社　臺灣支社

軍人會に竹腰の國防服

內地瓦使用者各位ニ謹告　臺灣北部內地瓦統制組合　臺北州內地瓦屋根葺請負協會

喜なかだち

女店員募集　女生徒募集　見習看護婦　調劑助手　求貸家　菓子舖讓る

大正堂靴店　臺北市京町

銘酒　月桂冠　西村商會

特效　ドラミン　臺北市大和町

洗濯　臺北市御成町

春光電氣商會

綿の打ち直しは　臺北市新富町

珍菓　メロー　元祖メロー商會

世界馳名　九一四內服新藥　梅毒風濕骨痛リウマチス特效　臺北市永樂町　神農氏大藥房

消毒殺虫劑　オニゾール　臺灣發賣元　佐野商行　臺北市建成町

經濟調味料液体の鰹節　鰹味酒

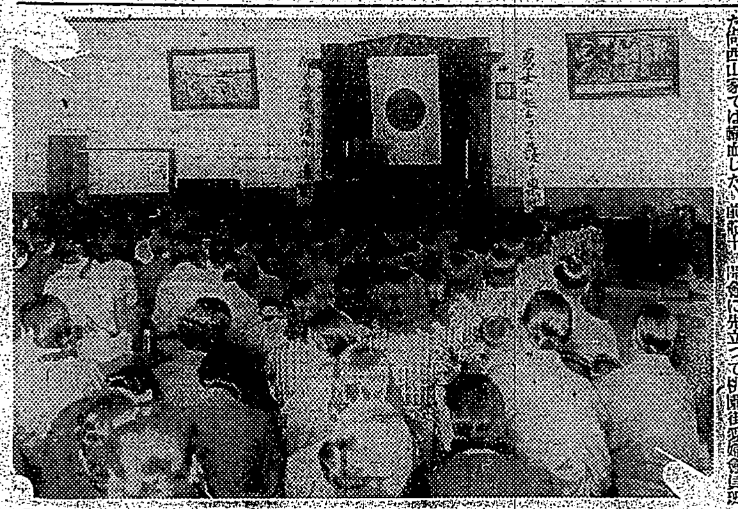
博多帶豐富入荷　西呉服店

ヤスリ　臺灣ヤスリ株式會社

めいせんと帶地　實質本位◎新柄入荷　臺北市表町　電話六○三七番　秩父屋呉服店

地方綜合版

巣立つ日も待たで 答辭を誦しつ逝く
強い愛校心に恩師も感泣
高雄高女に咲いた美談



講習會終了式

銃後家庭婦人大會
廿九日桃園一公で催さる

花蓮港畜産會總會

彰化農組評議員會

高雄市營バス 傷痍軍人優待

東港郡道路協會

宜蘭市管内の小公學校改稱

宜蘭小…宜蘭國民學校
宜蘭公…旭國民學校
宜蘭女子公…向陽國民學校
壯四公…東園國民學校
員山第二公…南園國民學校

臺東花蓮港道路の人道橋架設に決る

紅葉溪

紅葉溪

鳳林街防空訓練

モッペ部隊の活躍
勇敢な玉里家庭防空班

名實全島一を誇る見事な耕地防風林

農事

增產

老春 (38)

川口松太郎作
伊勢良夫畫

櫻

毛がはえる
私は生れつき無毛症にて毛が薄いため…何とかして人並に毛を生やしたい…

大阪市西區…　安藤文子

らい病
…大阪市北區…　鶴見哲山

難病が不思議に治る
靈寶石（尼崎名別）
日・滿政府登錄名石

りん病に困る方へ
古療法…無代進呈
天授治淋散
本家 金澤市東馬場 二田村天授堂

タバコをヤメル
禁煙劑製造所

結核免疫元
有馬・青山・大縄三醫學博士創製
AOの適應症
肺結核、眼科結核、肋膜炎、皮膚結核、眼外科結核、腹膜炎
【解説贈呈】發賣元 須美商店

身體髪膚之を父母に享く
敢て禿髪せざるため に加美乃素あり
養毛・生毛 美髪液 加美乃素
發賣元 加美乃素本舗

頭痛にノーシン

第一公論社版
野澤富美子 煉瓦女工 五百版
（創作集）長女 二百版
上田三平著 日本史蹟の研究 五版
上村哲彌著 親たるの道 廿五版
後藤岩男著 伸び行け子供 八版
（東京市京橋區銀座二ノ二 振替東京六一八八六番）

公論 四月號
戰ふ日本の實力
われら何を爲すべきか
聯合共同體と經濟秩序
金融新體制
公債・通貨・物價
教育問答
國民運動と會議の性格
市井に聽く
バルカンの門
茶の花咲く丘
日本國難克服史
青年教師座談會
佛印事情
世界の動き
ニュートン
バルカンと東地中海
銀閣寺の庭園
モデル供養

文藝春秋社發行
大洋 四月號 四十錢
躍進の新鋭海國雜誌
泰・佛印
太平洋の新情勢
英米の極東謀略を衝く
馬來の戰備狂奔を解く
獨伊の攻勢は極東に響く
潛水艦戰と商船護送團
米海空軍の新鋭を衝く
南洋を科學する
珊瑚礁
魚
海國トルコ回航譚
海鷲佛印進駐記
北洋漁業の大轉換
地獄耳
松岡外相の渡歐
一列流行
鳴門の沈沒船
稅關訪問記
海の歳時記
南方圈ルポルタージュ 廣東日記
内南洋生活
ビルマを裸にする
低氣壓の眼
羽搏く海鷲
長篇讀切・潜水艦小説 航續海底二萬哩 小栗虫太郎